

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

♡ことばの力♡からだの力♡こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園

園長 太田友子 平成 29年3月24日



お元気で！いつまでも応援しています。

年長組のみなさん

3月15日(水)、卒園式が行われ、57名の年長児が巣立っていきました。保育修了証書の授与では、一人ひとりが大きな声で「はい」と返事し、舞台正面に立ち、夢を語ります。「僕は大きくなったら、外科医になりたいです！」「私は大きくなったら、幼稚園の先生になりたいです。」自分の夢をしっかりと宣言できました。

思い起こせば、三年前、入園した子どもたちは、おむつがまだ外れていなかったり、片言でしかお話ができなかったり、入園式で大泣きして、親御さんも大変な思いをされたり…。今ではなつかしい思い出となりました。初めての世界にとまどいがあるのは当然のこととはいえ、心配されたことでしょうか。親子で乗り越えた幼稚園生活でした。本当によくがんばられましたね。心からお祝い申し上げます。

思い起こせば、三年前、入園した子どもたちは、おむつがまだ外れていなかったり、片言でしかお話ができなかったり、入園式で大泣きして、親御さんも大変な思いをされたり…。今ではなつかしい思い出となりました。初めての世界にとまどいがあるのは当然のこととはいえ、心配されたことでしょうか。親子で乗り越えた幼稚園生活でした。本当によくがんばられましたね。心からお祝い申し上げます。

保護者会会長、西村晴雄様からのご祝辞の中で「この幼稚園で子どもたちは幸せな時間を過ごせました。」とのお言葉をいただきました。

今日、子どもたちを取り巻く環境には厳しいものがあります。子どもが子どもとして、のびのびと心豊かに過ごすためには、大人たちの努力が不可欠です。本園では、保護者会をはじめ、保護者の皆さま、地域の皆さまから温かいご理解とご支援を頂いているおかげで、子どもたちは安心してたくましく成長することができました。ありがたいことです。「いのちがいちばん」、より磨き育てあげてほしいです。多くの人々との新たな出会いに期待を込めて！



「豊かな遊びから確かな学びへ」

☆ Aちゃんは、いろいろな遊びを心ゆくまで楽しむ中で、友だちとの考えが合わないことを繰り返し経験し、相手の気持ちに気づけるようになり、折り合いをつけられるようになった。



☆ Bちゃんは、室内での遊びを好んでいたが、2学期後半から、うんていや鬼ごっこ、縄跳びなど活発に身体を動かして、大きな集団で遊ぶようになった。



☆ Cちゃんは、作品展で自分の作品を認めてもらえたことが自信へとつながり、友だちの手元を見ては模倣し、そこから自分なりに工夫して製作を楽しむようになった。

☆ Dちゃんは、3学期後半になると、進級に対する期待感が高まり、今までの自分を振り返るとともに、身支度や食事の際に、時間を気にして行動したり、集中して活動したりするようになった。



このように、子どもたちは、幼稚園での豊かな遊び(生活)が展開されるなかで、人間関係を深めながら、「折り合う力」や「集中力」「創造力」「生活習慣」など、学びの基礎となる力を身に付けていきます。

最後になりましたが、この一年、保護者会役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には、常に変わらぬご理解とご協力を本園教育に対してお寄せいただきました。教職員一同、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。